

## 総括的概要

平成20年度の経済状況は非常に厳しいものとなり、上半期においては世界的な燃料の高騰による原材料及び輸送コストの大幅な増と下半期においては100年に一度と表現される未曾有の経済危機に見舞われた全世界が震撼する1年でありました。

当地域においても、織物業界の不振に加え、観光業においても団体客をはじめとした入り込み数の減少など伸び悩みの状況がみられ非常に不透明感の強い1年となりました。

当センターにおきましても開設2年を経過したトライアルショップ「あるでえ丹後」を閉店するなど激動の1年でした。

丹後の製造者にとっても非常に厳しい1年ではありましたが、製造者からは販売先を発掘、提供してほしいとの意欲的な要望を受け、外販事業に積極的に取り組むとともに、売れる商品づくり支援を展開してきました。

今後も丹後製品の拡販については、積極的な販売と商品の改良が不可欠であり、当センターの重要な役割であるとの認識を一層強くしました。

以下、本年度の事業内容をご報告いたします。

### 1 新製品、新技術の開発研究

#### (1) 織物開発室

来館者へ織物実演をとおして丹後ちりめんの産地としての啓蒙・PRを図りました。

#### (2) 染色開発室

ア 丹後の染色技術のオリジナリティ、アイデンティティの確立を目指し「網野染色研究会 茜」の活動拠点として施設を開放するとともに、同会の協力を得て染色人口の底辺拡大を図るための各種染色教室を開催し、技術の普及、更にはこれら技術を活用した新商品の開発に努めるとともに、来館者への染色体験を実施することで、地域産業である「ちりめん」と観光客との接触の機会を提供し、産地イメージの高揚に努めました。

##### ● 染色作品展開催

◇期 間 平成20年11月2日・3日

◇場 所 当センター染色開発室

◇主 催 網野染色研究会 茜

イ 京丹後市職業訓練校染色科へ染色開発室を開放し、技術者の養成を図りました。

●染色基礎Ⅰ 全20回

●染色基礎Ⅱ 全15回

- 講師 石 堂 典 子 氏

### (3) 新商品開発セミナーの開催

ア 地域内に循環型市場を形成し、魅力の源に育成しようという多品種少量生産を前提とした「地域内循環型市場の形成」など、地域特性と生産規模にマッチした、地域ブランドづくり及び販売戦略の研修を実施しました。

- テーマ 地域特産品のマーケティング戦略
- 開催期間 平成20年7月4日(金)
- 講師 須川一幸氏(株式会社地域振興研究所 代表)
- 共催 京都丹後ブランド産品会・京丹后市商工会
- 受講者 丹後地域内の地場産品製造者 21社

イ 地域特産品マーケティング戦略について個別に相談会を開催しました。

- 開催期間 平成20年7月4日(金)
- 講師 須川一幸氏(株式会社地域振興研究所 代表)
- 共催 京都丹後ブランド産品会・京丹后市商工会
- 受講者 丹後地域内の地場産品製造者 5社

ウ ～「知らなかった」では済まされない～トレーサビリティ(生産履歴管理)と題し、食品製造衛生管理セミナーを開催しました。

- テーマ 安心安全な製造管理とコンプライアンス(法令遵守)について
- 開催期間 平成20年10月24日(金)
- 講師 的早剛由氏(マトハヤ・フーズコンタクト株式会社 法令テクニカルアドバイザー)
- 共催 京都丹後ブランド産品会・京丹后市商工会
- 受講者 丹後地域内の地場産品製造者 18名

エ 個別商品相談会

- テーマ 各種法令に基づく品質表示、食品製造衛生管理による消費期限の延長
- 開催期間 平成20年10月25日(土)
- 講師 的早剛由氏(マトハヤ・フーズコンタクト株式会社 法令テクニカルアドバイザー)
- 共催 京都丹後ブランド産品会・京丹后市商工会
- 受講者 丹後地域内の地場産品製造者 5社

## 2 需要の拡大

### (1) 地場産品の常設展示即売事業

当地方の風土と伝統技術の中で育まれた丹後ちりめんをはじめとした豊富な地場産品を展示・販売し、丹後を訪れる観光客をはじめ地域内外に、幅広く宣伝啓発し、販路開拓と需要の拡大に努めました。

特に、丹後ブランド商品販売促進（T a n g o G o o d G o o d s 認定等）事業と連携した地場産品の所在・発掘調査と消費者ニーズに基づく商品の見直しに取り組んだ結果、3月末現在で、委託販売業者は2市2町で207業者（前年比4業者増）、取扱品目2,642品目（前年比383品目増）となりました。

### (2) アミティ丹後出展者会の設立

あるでえ丹後において出展者による積極的な事業展開及び異業種交流に成果を上げた出展者交流事業として、アミティ丹後展示即売室においても出展者会を設立しました。

設立日 平成21年2月5日(木)

### (3) 丹後ブランド商品販売促進事業

丹後地域の優れた地場産品を発掘・開拓し、丹後を訪れる観光客等に優れた地場産品を紹介・販売できるシステムを構築することを目的として、T a n g o G o o d G o o d s 認定事業に引き続き取り組みました。

本年度も新規募集に加え、平成17年度認定品の認定期間満了による再審査をあわせて実施し、丹後地域内の販売業者(小売店)、卸業者及び観光関連業者を対象としたT a n g o G o o d G o o d s 見本市を開催するとともに認定品カタログ等を作成配布し、商談の機会を設定しました。

#### ●平成20年度T a n g o G o o d G o o d s 認定

##### (地域資源活用新事業展開支援事業費補助金事業)

##### ◇認定状況

平成20年度 認定者数48社 認定点数112点

通算(平成18年度～20年度) 認定者数93社 認定点数257点

##### ◇優秀産品表彰

優秀産品表彰制度は、認定品の中で特に優秀と認められるものを選定・表彰する制度で、本年度は5点を表彰しました。

優秀産品はT a n g o G o o d G o o d s 見本市で特別展示するとともに、K T R天橋立駅構内及び当センター展示即売室で展示し、T a n g o G o o d G o o d s 事業

の旗頭としてPR成果を上げています。

●第10回Tango Good Goods見本市の開催（**地場産業等振興対策費補助事業**）

- ◇開催期間 平成20年10月24日(金)～26日(日)
- ◇開催場所 宮津市民体育館
- ◇主催 財団法人丹後地域地場産業振興センター  
京都丹後ブランド製品会
- ◇後援 京都府・京丹後市・宮津市・与謝野町・伊根町  
京都府商工会連合会・丹後地方商工団体連絡協議会・丹後広域観光キャンペーン協議会
- ◇出展業者数 65社
- ◇商談件数 94件
- ◇来場者数 5,000人

●Tango Good Goods認定品カタログ及び販促グッズの配布

- ◇見本市等で商談資料として活用する「2008認定商品カタログ」を作成し、卸・小売店、観光関連業者等へ配布しました。
- ◇Tango Good Goods販売促進及び宣伝・啓発ツールとしてミニのぼり、のれん、のぼり、販促ポスターを卸・小売店、観光関連業者、関係機関・団体・集客施設等へ配布しました。

**(4) 第4回グルメ&ダイニングスタイルショー秋2008への出展（地域資源活用新事業展開支援事業費補助金事業）**

本年度は、食品類の拡販に主眼を置き、食品のトレードショー（商談会）である「第4回グルメ&ダイニングスタイルショー秋2008」へ出品・参加しました。

- 主催 株式会社ビジネスガイド社
- 開催期間 平成20年10月20日(月)～22日(水)
- 開催場所 東京ビックサイト（東京都江東区）
- 入場者数 22,042人（バイヤーのみ）
- 出展社数 2社
- 引合件数 120件
- 商談件数 71件
- 成約件数 2件
- 成約額 月額30～50万円

**(5) 京都丹後ブランド製品会の育成・指導**

Tango Good Goods認定事業者のうち地域外への販

路開拓、需要の拡大を強く希望する有志で構成する「京都丹後ブランド製品会」の事務局として各種事業を実施しました。

ア 通信販売カタログの作成・配布

昨年度に引き続き、中元・歳暮カタログを作成し、東京・大阪の各丹後人会及び当センター顧客等へ送付するとともに、丹後2市2町へ新聞折り込みしたほか各機関・団体・催事等に積極的に配布するとともに、各種物産展、館内配布を実施し、リピートオーダーの確保に努めました。

イ 情報交流会の開催

会員相互の交流を図るとともに異業種、同業種間の情報交流及び会員間ネットワークを強化するため、情報交流会を実施しました。

- 開催期間 平成20年10月25日（土）見本市終了後
- 開催場所 料亭ふみや（宮津市）
- 参加者 T a n g o G o o d G o o d s 認定事業者他  
32名

ウ 丹後のええもん うまいもん展の開催

T a n g o G o o d G o o d s 認定商品を中心に、丹後地域で産する優良な地場産品を地域外へ広くPRするとともに、消費者と生産者との直接の出会いを設けることにより、新たな需要を喚起し販路の拡大、魅力ある商品開発の道を拓くことを目的として各地の大消費地で開催しました。

① 丹後のええもん うまいもん展in高槻

大阪及び京都のベッドタウンである高槻市において毎月丹後展を開催しました。

- ◇開催月 5月・6月・7月・8月・9月・10月・1月  
2月・3月
- ◇開催場所 アクト・アモーレ（大阪府高槻市芥川町JR高槻駅  
ショッピングモール）
- ◇出展者 京都丹後ブランド製品会会員14社

② 第2回丹後・丹波・山城のええもん うまいもん展in名古屋

- ◇開催期間 平成20年11月14日（金）～16日（日）
- ◇開催場所 名古屋市中区 金山総合駅イベント広場
- ◇主催 京都府商工連合会と共催
- ◇出展者 京都丹後ブランド製品会会員9社  
丹波・山城出展者4社

③ 第6回丹後のええもん うまいもん展in名古屋

- ◇開催期間 平成20年11月17日（月）～20日（木）
- ◇開催場所 名古屋市中区 金山総合駅イベント広場

- ◇出展者 京都丹後ブランド産品会会員10社
- ④ 第7回丹後のええもん うまいもん展in名古屋
  - ◇開催期間 平成21年1月28日(水)～31日(土)
  - ◇開催場所 名古屋市中区 金山総合駅イベント広場
  - ◇出展者 京都丹後ブランド産品会会員13社
- ⑤ 第8回丹後のええもん うまいもん展in名古屋
  - ◇開催期間 平成21年3月17日(火)～20日(金)
  - ◇開催場所 名古屋市中区 金山総合駅イベント広場
  - ◇出展者 京都丹後ブランド産品会会員14社

## (6) アンテナショップ「あるでえ丹後」

丹後地場産品の展示普及事業として、地場産品製造業者の出資により開設した「あるでえ丹後」は2年を経過し今後の運営・継続について出展者会へ委ねる時期にきており、出展者会で協議を行った結果、観光客へ地場産品及び地域をアピール・紹介するとともに地産地消の発信拠点となりつつあるものの、アンテナショップとしての一定の役割を終えたとの認識から平成20年9月23日をもって閉店しました。

ア 出展者会による主な事業

### ①展示会

- ◇作業所合同展 6月20日(金)～27日(金)
- ◇丹後半島山野草写真展 6月28日(土)～7月8日(火)
- ◇パッチワーク展 7月10日(木)～15日(火)
- ◇幻一展 7月21日(月)～27日(日)
- ◇お中元フェア 7月30日(水)～8月3日(日)
- ◇丹後のええもん うまいもんフェア

### ②店舗運営学習会

- 期 日 7月9日(水)
- 講 師 中小企業診断士 伊藤 伸 氏

### ③お別れ感謝フェア

- 期 日 9月20日(土)～23日(祝)

## (7) 特産品ショップ「ホッと丹後」の運営 (京丹後ブランドチャレンジショップ事業補助金事業)

丹後地域の特産品の販売や観光情報等の提供を通じて、「丹後」の名前や魅力を発信し誘客を図るとともに、産品の販路拡大を目的として京都市内に開設したホッと丹後を引き続き運営しました。

常設展示のほか、ばら寿司など製造者に直接販売や旬の食材フェア(牡蠣、サザエの壺焼き等)などを随時開催するとともに、情報

発信イベントを開催し、多くの方々に丹後をアピールしました。

ア K B S 京都朝市への出展

ホッと丹後及び地域製品のPRを目指し、毎月第3金曜日にK B S 京都が主催する朝市に出展し、直販及びラジオを通じてPRを行いました。(11回出展)

イ おいでよ丹後夏キャンペーンの開催

京丹後市及び京丹後市観光協会との共催により夏期誘客イベントを開催

①◇期 日 平成20年6月28日(土)・29日(日)

◇場 所 B I V I 二条(京都市二条駅前)

◇内 容 おかみさんの会による「あごのつみれ汁」無料振る舞い、京丹後市観光協会による観光パンフレット配布及び丹後物産展の開催

◇丹後物産展出展 12社

②◇期 日 平成20年6月28日(土)

◇場 所 藤井寺おゆば(大阪府藤井寺市)

◇内 容 抽選会の実施、鳴き砂体験、パンフレット配布及び丹後物産展の開催

ウ 秋の丹後へ行こう!「ゆるり ぐるり ほっこり 丹後」

京都縦貫自動車道綾部～和知間開通を期に、11月のかにシーズンに向けた誘客イベントを開催

●期 間 平成20年9月28日(日)

●場 所 イオンモール京都ハナ(京都市右京区西院)

●内 容 京丹後市観光協会による梨の振る舞い

鳴き砂体験・丹後の風景パネル展示・着物クイーンによる観光パンフレット配布及び丹後物産展の開催

●丹後物産展出展 5社

エ ホッと丹後会員の募集と丹後のええもん うまいもんツアーの開催

丹後ファンの獲得を目指して、ホッと丹後会員を募集し、3月末現在で1000名を超える会員を登録しています。

また、丹後の良さを伝え、丹後のPR隊となってもらおうべく会員を対象に丹後体験ツアーを実施しました。

●実施日 平成21年3月8日(日)

●参加者 21名(ホッと丹後会員)

(8) 全国地場産業振興センターとの交流促進

全国のセンターが主催する地場産展に積極的に協力したほか、全国協議会の主催研修への参加等を通じて他の地場産業振興セ

ンターとの情報交換を行いました。

特に近畿ブロックのセンターについては、共同事業を行いセンター共通の目的に向け連携を密に事業展開しました。

ア 第4回近畿のええもん うまいもん展in姫路

- 開催期間 平成20年4月4日（金）～6日（日）
- 開催場所 姫路大手前公園グリーンゾーン
- 出展者 京都丹後ブランド産品会会員10社  
他センター15社

イ 第5回近畿のええもん うまいもん展in名古屋

- 開催期間 平成21年2月18日（水）～20日（金）
- 開催場所 名古屋市中区 金山総合駅イベント広場
- 出展者 京都丹後ブランド産品会会員9社  
他センター6社

ウ 近畿経済産業局管内地場産センター実務担当者会議の開催

①平成20年度第1回会議

- 期 間 平成20年8月21日
- 場 所 近畿経済産業局
- 議 題 ・国の産業施策・補助金動向について  
・公益法人制度改革について  
・ネット通販について
- 講 師 中小企業庁経営支援部新事業促進課  
課長補佐 中田 富幸氏  
財団法人中小企業総合研究機構  
常務理事 須田 和美氏  
Topdas株式会社  
代表取締役 久保 治氏

②平成20年度第2回会議

- 期 間 平成21年3月9日
- 場 所 西播地域地場産業振興センター
- 議 題 近畿センターショッピングモールの立ち上げについて

エ 平成20年度地場産業振興センター役職員研修

- テーマ 公益法人制度改革～新制度移行のポイント
- 期 間 平成20年11月18日
- 場 所 M I N A T O インキュベーションセンター（東京都）
- 出 席 総務係長派遣

オ 各地場産業振興センター物産展への出展

各地場産業振興センターからの出展要請に呼応し、販路開拓と需要の拡大、地域情報の発信、消費者ニーズの動向把握を目的とし、

各地場産業振興センターが開催する全国物産展へ出展しました。

① 全国地場産品フェア

- 主 催 財団法人高岡地域地場産業振興センター
- 期 間 平成20年8月8日(金)～10日(日)
- 会 場 高岡地域地場産業振興センター (富山県高岡市)
- ※ 京都丹後ブランド産品会会員5社派遣

② ‘08道北の観光と地場産品フェスティバル

- 主 催 財団法人道北地域旭川地場産業振興センター
- 期 間 平成20年9月13日(土)～25日(月・祝) 3日間
- 会 場 道北地域旭川地場産業振興センター (北海道旭川市)
- ※ 京都丹後ブランド産品会会員1社派遣

③ 開館25周年記念事業「全国自慢の逸品フェスタ」

- 主 催 財団法人十日町地域地場産業振興センター
- 期 間 平成20年10月25日(土)・26日(日)
- 会 場 十日町地域地場産業振興センター (新潟県十日町市)
- ※ 京都丹後ブランド産品会会員1社派遣

④ びんご産業市場「じばさんフェア」

- 主 催 財団法人備後地域地場産業振興センター
- 期 間 平成20年11月14日(金)～16日(日)
- 会 場 広島県立ふくやま産業交流館 (広島県福山市)
- ※ 京都丹後ブランド産品会会員2社派遣

⑤ じばさんフェア ‘08 全国ふるさと自慢フェア

- 主 催 財団法人山口・防府地域工芸地場産業振興センター
- 期 間 平成20年11月8日(土)・9日(日)
- 会 場 山口・防府地域工芸地場産業振興センター (山口県防府市)
- ※ 京都丹後ブランド産品会会員2社派遣

⑥ 山梨地場産業まつり

- 主 催 山梨県地場産業まつり実行委員会
- 期 間 平成21年2月20日(金)～22日(日)
- 会 場 山梨県地場産業センター (山梨県甲府市)
- ※ 京都丹後ブランド産品会会員2社派遣

(9) 各種展示会・イベントへの出展

ア 京都ふるさと物産展in巢鴨

- 主 催 京都府商工会連合会

- 期 間 平成20年9月1日(月)～10日 10日間
  - 会 場 マルヨシ横町(東京都豊島区巢鴨)
    - ※ 京都丹後ブランド産品会会員6社及び職員2名派遣
- イ クルーズ客船寄港歓迎式典
- 主 催 舞鶴港振興会
  - 期 間 平成20年9月8日(月) 飛鳥II  
平成20年9月21日(日) ふじ丸
  - 会 場 舞鶴港西港第2埠頭
    - ※ 職員のべ4人派遣
- ウ SKYふれあいフェスティバル2008
- 主 催 京都府・京都SKYセンター他
  - 期 間 平成20年9月13日(土)・14日(日)
  - 会 場 京都府総合見本市会館
    - ※ 職員3名派遣
- エ 第7回ちりめん丹後夢よさこい
- 主 催 京丹後市商工会女性部・京都府商工会連合会
  - 期 間 平成20年9月21日(日)
  - 会 場 丹後あじわいの郷
    - ※ 職員2名派遣
- オ 第9回楽陶祭
- 主 催 清水焼団地協同組合・楽陶祭実行委員会
  - 期 間 平成20年10月18日(土)・19日(日)
  - 会 場 清水焼団地一帯(京都市山科区川田清水焼団地町)
    - ※ 職員2名派遣
- カ KTR宮津線えきラリー
- 主 催 北近畿タンゴ鉄道
  - 期 間 平成20年11月2日(日)
  - 会 場 タンゴディスカバリー車内
    - ※ 職員2名派遣
- キ 京都府農林水産フェスティバル2008
- 主 催 京都府農林水産フェスティバル実行委員会
  - 期 間 平成20年11月29日(土)・30日(日) 2日間
  - 会 場 京都府総合見本市会館
    - ※ 職員3名派遣
- ク 京丹後ふるさと応援団交流会
- 主 催 京丹後市
  - 期 間 平成20年12月6日(土)
  - 会 場 ホテルセントノーム京都(京都市)
    - ※ 職員1名派遣

この他にも、K B S 春・秋の収穫祭、アジアグリーンツーリズム、堀川祭、スターライトりんくう関空2008、ふるさと情報プラザへの商品展示など出展要請に応え様々な形態での出展を行いました。

### 3 人材の育成

#### (1) きもの着付け教室

和装に親しみ、自ら着用できる人材の養成を図るために、京丹後市職業訓練校と共催で開催しました。

- 期 間 平成20年4月9日(水)～7月2日(水)  
毎週水曜日 全12回 実時間24時間
- 会 場 当センター2階講座室
- 講 師 京丹後市職業訓練校着付科講師 神南美枝子氏
- 受講者 13名

### 4 情報の収集提供

#### (1) アミティ情報の発信

展示即売室における顧客、商品販売情報の収集・分析に取り組み、販売実績データとともに、来店者の声を収集・分析し、アミティ情報として毎月出展者に発信しました。

#### (2) ホームページによる情報発信

T a n g o G o o d G o o d s の商取引支援及び一般消費者へのPRを目的に認定商品をデータベース化した「T a n g o G o o d G o o d s 紹介サイト」と消費者に販売する「ショッピングサイト」、センターのPR及び情報発信機能としての「センターサイト」の3機能を統合したホームページを運営し、情報発信に努めました。

(U R L <http://www.tango.jibasan.jp/>)

### 5 イベント

#### (1) 誘客イベントの開催

人の集う施設としての仕掛けづくり及び観光客誘致事業としてゴールデンウィーク及びお盆などの人が動く時期に合わせ、展示ギャラリーを活用した展示会の開催や地場産品製造業者による日替わり出張販売、絵てがみづくり・ハンコづくりなどの体験会等を開催

しました。

## (2) 展示ギャラリー活用事業

センターの知名度アップと「人の集う施設」としての仕掛けづくり、ギャラリーの活用促進・啓蒙を図ることを目的に、企画展を開催しました。

### ア 源氏物語千年紀展

●期 間 平成20年4月24日(木)～30日(水)

●展示品 植野真智子氏 源氏物語原画

●来場者数 180名

### イ 押し花アート展

●期 間 5月2日(金)～11日(日)

●展示品 押し花サークル「和」の押し絵作品

●来場者数 701名

### ウ T展

●期 間 8月9日(土)～24日(日)

●展示品 丹後若手染色グループDYE冒険のオリジナルTシャツ展

●来場者数 1,500名

### エ 「野の花 山の花」写真展

●期 間 10月10日(金)～19日(日)

●展示品 地元写真家 藤本芳郎氏の丹後野草写真

●来場者数 750名

### オ 着物リフォーム展

●期 間 11月20日(木)～26日(水)

●展示品 着物リフォーム作品

●来場者数 1,000名

### カ 紫式部の世界 和紙人形で表現する「源氏物語絵巻」展

●期 間 12月23日(火)～1月25日(日)

●展示品 久美浜町倭紙とドライフラワーの会による和紙人形展

●来場者数 1,740名

### キ かがやきロード写真展

●期 間 3月20日(金)～26日(木)

●展示品 光り輝く京丹後街づくり実行委員会による輝きロードの写真展

●来場者数 500名

## 6 管理

### (1) 施設管理

開館23年を経過し、老朽化が著しく進んできており修繕費の確保に努め、不具合箇所の発生ごとに修繕に取り組みました。

主な補修工事

- 屋上シーリング補修工事
- キュービクル及び発電機改修工事等を実施。

### (2) 会場提供

当センター施設利用は、地域の厳しい経営環境等もあり使用数は前年を下回りましたが、使用料収入については積極的な営業が奏功し前年を上回ることができました。施設は老朽化してきていますが、来館者が安全に、気持ちよく使用できるよう今後も設備の点検・修理・充実・館内外の清掃・整理に努めていきます。

### (3) 経営管理

厳しい経営環境中、さらなる効率的運営と経費の節減に努めるとともに、積極的に地域内旅館業者との連携を図るため、春期、夏期、冬期の3回に渡り、センターパンフレット等の配布及び誘客の依頼を実施しました。

## 7 喫茶・食堂の運営

来館者、会場利用者へのサービスと地域住民のふれあい、憩いの場として、また業者の情報交換の場としての機能を生かすため、アミテイルクに施設を貸与してきました。

年間利用者は、22,182人で対前年度比2.9ポイントの減となりました。

## 8 その他

### (1) たんご朝市

海、里、山の幸に恵まれる丹後の「旬」の農林水産物や手作り品を持ち寄り、観光客や地域の方々に豊かな資源や食材を楽しんでもらえる観光朝市として、京丹后市商工会と共催で「たんご朝市」を毎週日曜日開催するとともに、旅館業者等へPRポスターの配布を行い、積極的なPRに務めました。

また朝市開設後8年を記念し、利用者への感謝の意を込め4月27日(日)・11月2日(日)の2回、春・秋の感謝イベントを開

催し、多くの来場者を楽しんでいただきました。

## (2) 会議及び監査等

- ア 財団監査会 平成20年5月19日  
平成19年度事業報告、収支決算の監査
- イ 財団理事会
  - 第64回理事会 平成20年5月30日  
平成19年度事業報告、収支決算ほか
  - 第65回理事会 平成21年3月26日  
平成21年度事業計画、収支予算ほか
- ウ 財団運営委員会 平成20年1月22日
  - ・平成21年度事業計画について
  - ・公益法人制度改革について
- エ 近畿経済産業局中間監査 平成20年12月9日  
平成20年度地域資源活用新事業展開支援事業費補助金事業  
監査
- オ 全国地場産業振興センター協議会
  - ①基本問題研究会
    - 平成20年度第1回会議  
◇期 間 平成20年4月22日  
◇場 所 中小機業総合研究機構
    - 平成20年度第2回会議  
◇期 間 平成20年11月18日  
◇場 所 MINATOインキュベーションセンター  
このほか随時メーリングリストにより会議を開催
  - ②幹事会
    - 期 間 平成20年4月22日
    - 場 所 中小企業総合研究機構
  - ③定期総会
    - 期 間 平成20年7月10日・11日
    - 場 所 石川県地場産業振興センター
- カ 近畿経済産業局管内地場産業振興センター協議会連絡会議
  - 期 間 平成21年1月26日
  - 場 所 近畿経済産業局
    - ・全国センター役員の選出について
    - ・近畿のええもん うまいもん展について他

## (3) 講演及び講師依頼について

地域ブランド化事業として、全国的に先進事例であり、注目を集めるTango Good Goods認定事業についての講演要

請に応じ、講師として職員を派遣しました。

ア 市町村アカデミー 研修コース「農村漁村地域の活性化」

- 期 間 平成20年10月1日
- 場 所 市町村職員中央研修所（千葉市美浜区）
- 主 催 市町村職員中央研修所
- 聴講者 全国市町村係長級及び課長級職員40名